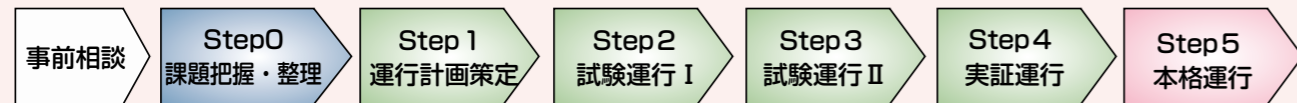


4月1日  
スタート!

## みんなで育てる地域交通乗り乗り事業

—地域交通の導入に向けた取り組みを支援します

○本格運行までの流れ



### ■運行経費の一部補助

運行にかかる経費への補助率を最大で30%引き上げるとともに、人口集中地域と、中山間地域などの人口集中地域以外に区分し、人口集中地域以外で実施する場合の補助をより強化しています。

	補助率	
	人口集中地域(※)	人口集中地域以外
Step2 試験運行Ⅰ	90%	95%
Step3 試験運行Ⅱ	85%	92.5%
Step4 実証運行	80%	90%
Step5 本格運行	80%	90%

※人口集中地域とは、国勢調査において一定程度人口を有する人口密度の高い地域

### ■高齢者等割引運賃への補助

70歳以上の高齢者や障害のある方等を対象に運賃を割り引きする「元気乗り乗り割引」を導入する場合、正規運賃との差額（正規運賃から、100円または2割のいずれか高い額を差し引いた金額）を補助します。

★利用者は乗車時に、身分証明書や障害者手帳等を提示することで、割引運賃（100円または正規運賃の2割のいずれか高い金額）で乗ることができます

### ■運行計画策定の支援

地域の方々による、ルート・停留所位置・時刻表・運賃等の検討において、専門家を派遣し、運行計画の策定をサポートします。



①乗り合いタクシー「のりあい・つばめ」  
②地域で停留所位置など運行計画を検討する様子  
③燕沢地域包括支援センター主催のお出掛けツアー

# 地域交通をつくる、守る、育てる

**地域がつくり育てる地域交通**

通勤・通学、買い物など日常生活に欠かせない交通機関。道路が狭くて路線バスが通れない、最寄りの駅やバス停が遠いなど、移動に課題がある地域において既存の公共交通を補完する交通手段が地域交通です。市では、平成30年4月から地域の足の確保に取り組みを行う「みんなでつくる地域交通スタート支援事業」を開始。地域、運行事業者、市の三者協働で取り組み、地域の方々には課題の把握や運行計画の策定等、運行事業者は安全運行等、市は運行経費の一部補助や運行計画の策定支援等の役割を担います。

平成30年10月にはこの事業を活用する第一弾として、丘陵地で道が狭く、大型バスの通行が困難な宮城野区燕沢地区で、乗り合いタクシー「のりあい・つばめ」の試験運行を開始。目標とする収支率の達成を目指し、利用実績やアンケート結果を踏まえ、ルートや停留所位置などの見直しを重ねてきました。のりあい・つばめを利用した食事や買い物ツアーも企画されるなど、住民同士の交流や高齢者の外出促進にもつながり、着実に地域の足として育っています。

**支援強化で導入を後押し**

市では「高齢者の運賃負担を減らしてほしい」「人口が少ない地域でも取り組めるよう補助率の引き上げを」等の要望を受け、4月からは事業名称を「みんなで育てる地域交通乗り乗り事業」に改め、制度を拡充します。本格運行時の補助を新設し、試験運行時の補助率を引き上げるとともに、人口が少なく住居が点在しているため、運賃収入の確保が難しい中山間地域への支援を強化します。高齢者や障害のある方等の割引運賃への補助も新設。地域の実情に応じた地域交通の実現を目指します。

市の新制度を活用して、燕沢地区では実証運行が始まります。また、太白区坪沼地区では平成18年から主に小・中学生の通学に利用してきた地域交通「つばぬま号」を生活の足として予約制で区域内を自由に乗降できる運行形態に見直し、新制度を利用して試験運行を開始。青葉区作並・新川地区や太白区秋保地区でも住民等による意見交換や課題整理が始まるなど、導入に向けた検討が進んでいます。

地域の移動手段が充実し、誰もが暮らしやすい、安心して過ごせるまちづくりに向け、今後も地域交通の導入を促進していきます。

## 燕沢 Step4 実証運行

## 地域の特色に合わせた 乗り合いタクシー

## 坪沼 Step2 試験運行Ⅰ

定時定路線型（路線を時刻表に基づき運行）

区域運行型（区域内を予約に応じて運行）

29カ所の停留所

地区内は利用者指定場所、地区外は4カ所の停留所

200円/回、高齢者等・小学生以下100円/回

400円/回、高齢者等100円/回

試験運行時から「のりあい・つばめ」を利用している松崎茂行さん

「つばぬま号」運営主体の坪沼乗合タクシー運営協議会会長・佐藤多喜雄さん

この地域は坂道が多く、長い階段もあるため、市営バスの停留所に歩いて向かうには、一苦勞でした。週に2・3回買い物や通院に利用しているのですが、停留所が自宅のすぐ近くにあり、運賃も安いので、大変便利です。また、地域包括支援センターが開催する、のりあい・つばめに乗って出かけるお食事ツアーなどにも参加しています。地域に顔見知りが増え、たくさんの人と交流ができ、行動範囲も広がって有意義な生活を送っています。

「つばぬま号」は路線バスの撤退を機に、平成18年から運行が始まりました。しかし、近年の児童・生徒数の減少により、利用者が少なくなってきたため、予約時のみ運行する形態に変更しました。



電話で予約して自宅まで迎えに来てくれるなど、地区内であればどこでも乗り降りできるようになりました。これまでと違ってバス停まで歩く必要もなくなり、70歳以上の方は100円で乗れますので、特に免許を返納している高齢者にとっては、買い物や通院などに非常に利用しやすくなると思います。

4月からの試験運行後は、本格的な運行の定着を目指して、より利用しやすくなるよう課題を整理し、地域で協力しながら考えていきたいです。



30年以上前からの夢でした。これからも地域の高齢化は進みます。より良いのりあい・つばめを育て、住みやすい環境になるよう、走り続けて欲しいですね。

この特集に関するお問い合わせは、公共交通推進課 ☎214・8359、FAX211・0017